

佐賀大学医学部附属病院再開発整備計画



平成26年5月23日
国立大学法人 佐賀大学

1

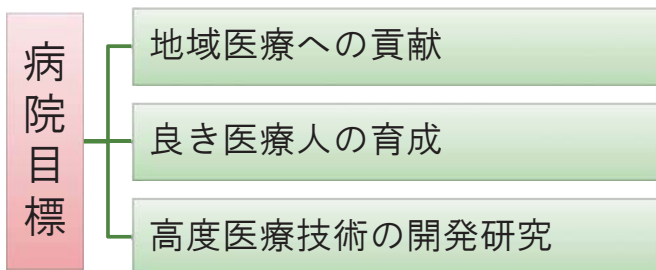
1. 再開発整備の概要
2. 病院施設の総合的マネジメント
3. 特徴的な取組と今後の課題

2



佐賀大学病院理念

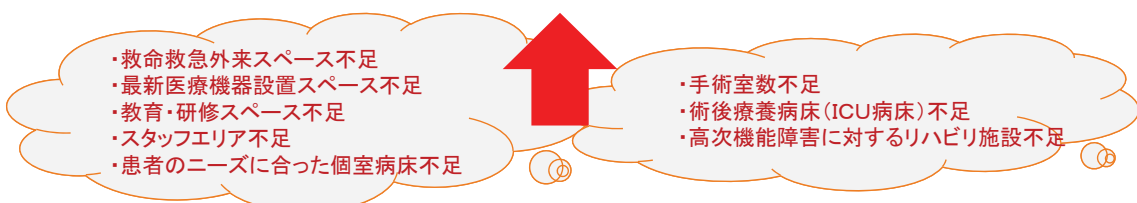
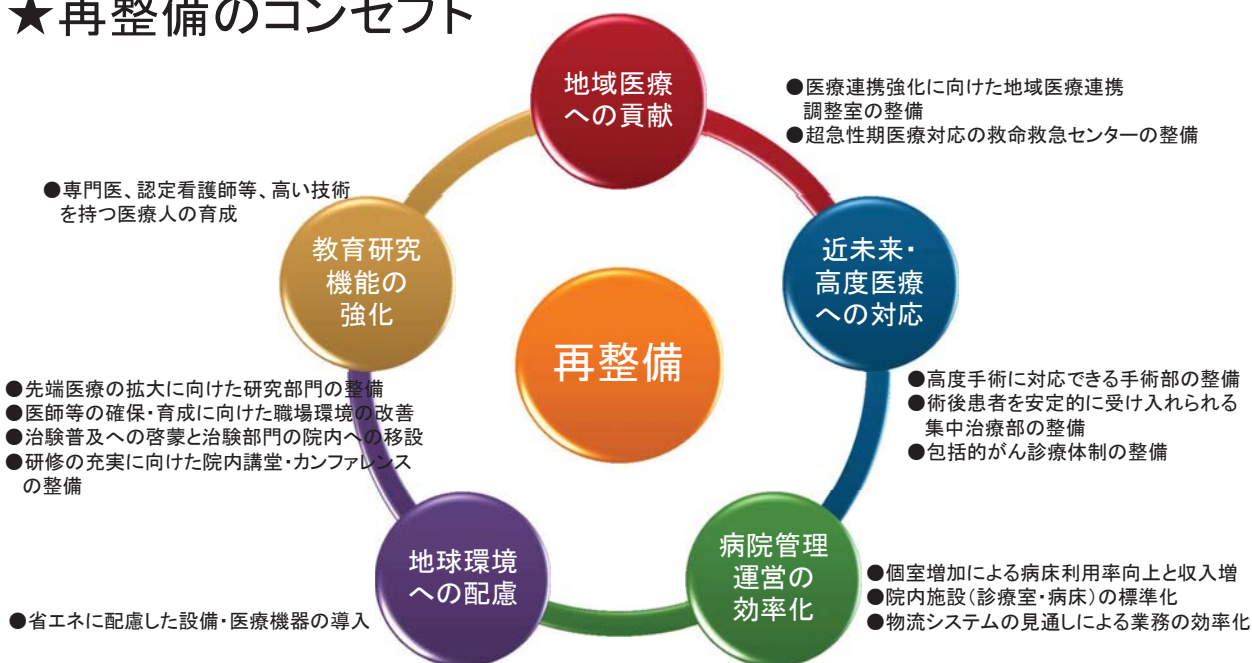
患者・医師に選ばれる病院を目指して



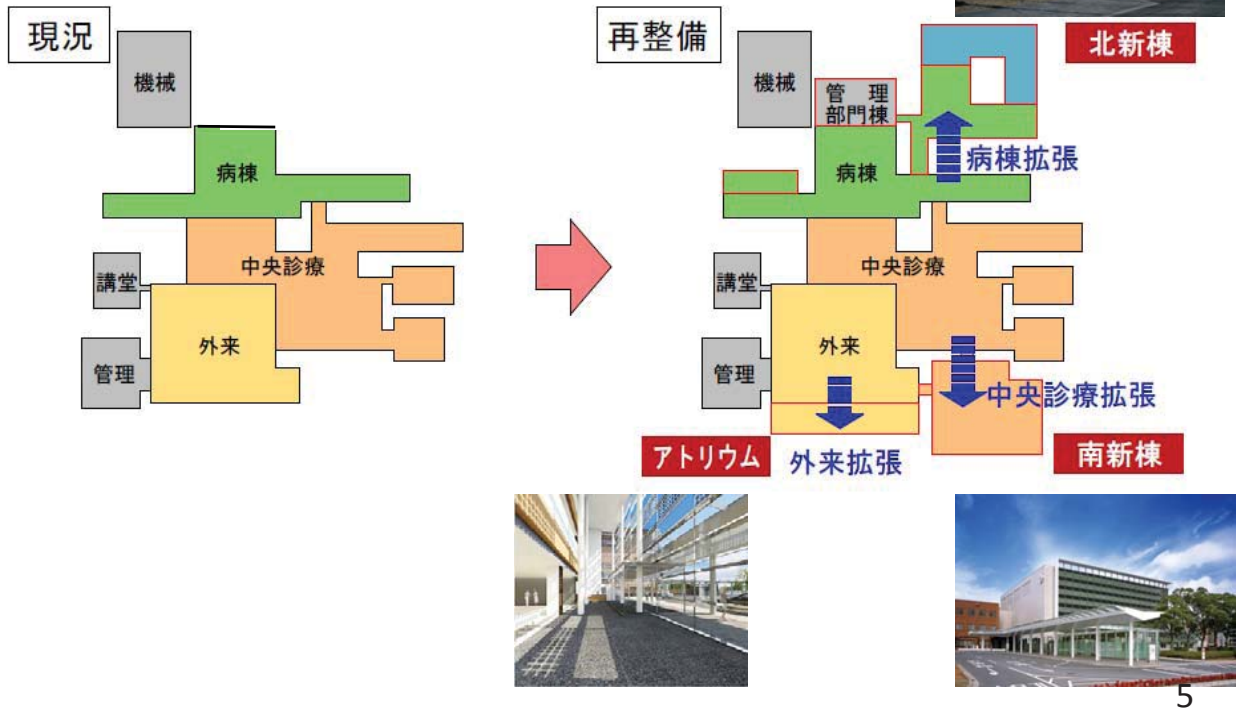
〈佐賀大学病院の基本情報〉

- ・開院：昭和56年10月
- ・診療科数：27診療科
- ・病床数：604床
- ・病床稼働率：90.0%（24年度実績）
- ・1日平均外来患者数：939人（24年度実績）
- ・1日平均入院患者数：544人（24年度実績）
- ・年間手術件数：6,056件（24年度実績）

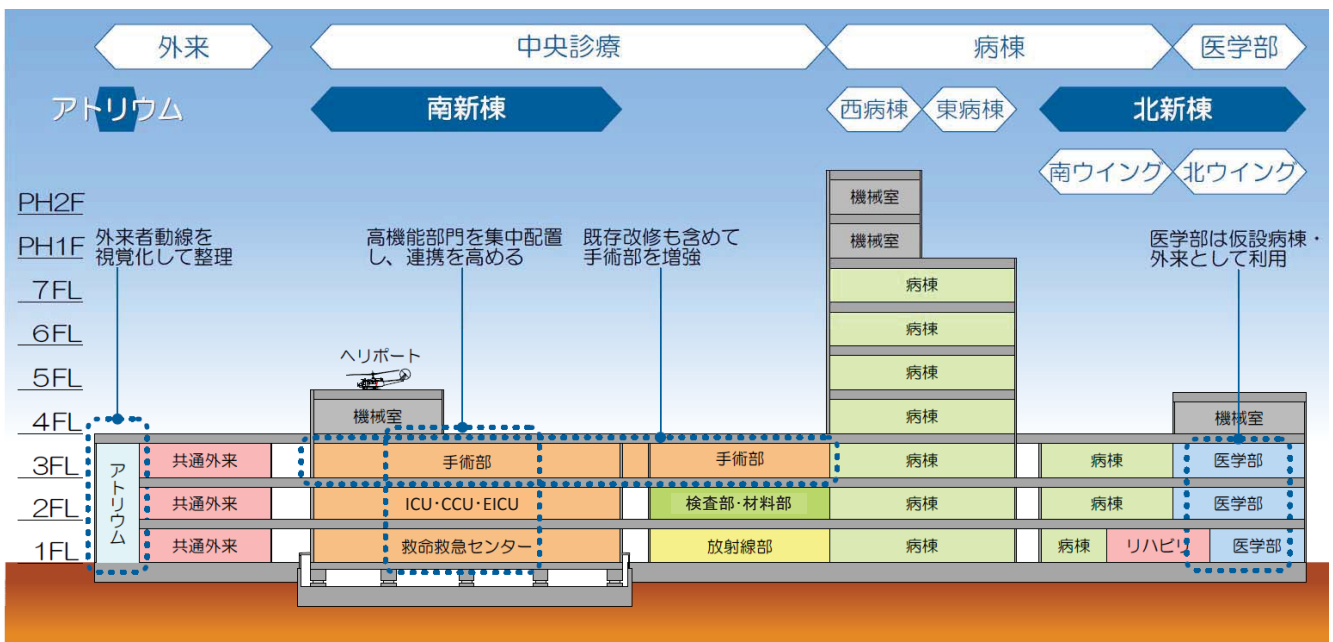
★再整備のコンセプト



★再整備概念図



★病院再整備後の診療体制



病院再整備ロードマップ

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
南診療棟 (南新棟)							
北病棟 (北新棟)							
診療支援棟 (管理部門棟)							
西病棟							
東病棟							
中央診療棟							
RI治療棟 高エネルギー棟 MRI棟							
外来診療棟							

(佐賀県医療施設耐震改修事業補助金活用)

7

★基本理念の建物別適用事項

		新診療棟 (南診療棟)	既存改修	新病棟 (北病棟)
近未来・高度医療への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■血管造影装置(脳・心疾患)導入、ナビゲーション手術への将来対応 ■がんの早期発見、低侵襲手術・遺伝子解析のデータベース化・活用 	手術室の高度化 救命救急センター・ICUの一体的整備(災害・急性期・高度医療対応)		感染防止・プライバシー確保・個室ニーズの対応
地域医療への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ■医師派遣強化、どこでも安心の医療提供体制構築 ■地域医療情報を統括するマネジメント機能確立 	緊急時対応部門の集中配置 大規模災害に耐える体制の確立	スムーズな移行計画と病棟外来を含む病院機能の維持	
教育研究機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■チーム医療を担う医療人養成と教育の空間・機会の拡充 ■総合大学として理工学部と連携、新治療器具等を開発 	先進医療の拡大に向けた研究部門の整備を行い、専門医・認定看護師等、高度な技術を持った医療人の育成と確保に向けて職場環境を改善		
病院管理・運営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■物質資源の有効活用(諸室、器材の共同利用、物品管理一元化) ■運営の効率化(診療室共通化、柔軟な病床管理) 	効率的な部門ゾーニングと動線の整理		
		救命救急・ICU・手術部門の有機的連結	病室・診療室の標準化 患者・職員の双方にとって良好な環境の提供	
地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■高効率の施設、設備整備によりエコロジー病院を実現 ■低温滅菌装置(佐賀大学特許)等の開発拡大 	エネルギー効率を高める施設・設備の整備を行い、人と環境にやさしい医療機器開発拡充が可能な施設作りを進め、エコロジーに配慮した病院を実現		

8

◎超急性期医療に対する体制整備、医療需要への対応

○手術室の不足対応

- 手術室10室⇒15室に増室

○集中治療部病床不足

- 6床⇒16床に増床・機能拡充

○救命救急センター病棟と外来の配置乖離の非効率性

- 救命救急センター病棟と救急外来の位置的統合等による機能強化

○病棟(・外来)臓器別センター化促進

- 内科系・外科系臓器別集約
- 関節外科センター、ハートラングセンター、消化器センター、脳神経センター、腫瘍センター

○地域連携室拡充・機能整備

- 地域医療連携調整機能整備、入退院・病床管理機能拡充

◎高度医療の展開・最先端医療の研究・開発機能強化

○関節センター内に「統合移動能力測定室」設置

- 人工関節の評価・検証等を行い、高度医療に向けた研究開発機能強化
- 理工学部との連携による新しい治療器具の研究開発を更に推進

○先進総合機能回復センター設置

- 高次脳機能障害、認知症を含めた専門的総合的リハビリテーションを包括的に実施

○光学医療診療部と外来化学療法室の機能強化・拡充

- 高度で低侵襲ながん治療の提供を行う診療体制・施設設備を整備

○オンコロジーセンター設置

- がん治療のバックアップセンターとして包括的・集学的がん診療体制を整備
- 光学医療診療部等と近接してがん治療エリアを形成

◎教育・研究機能の拡充に対する整備

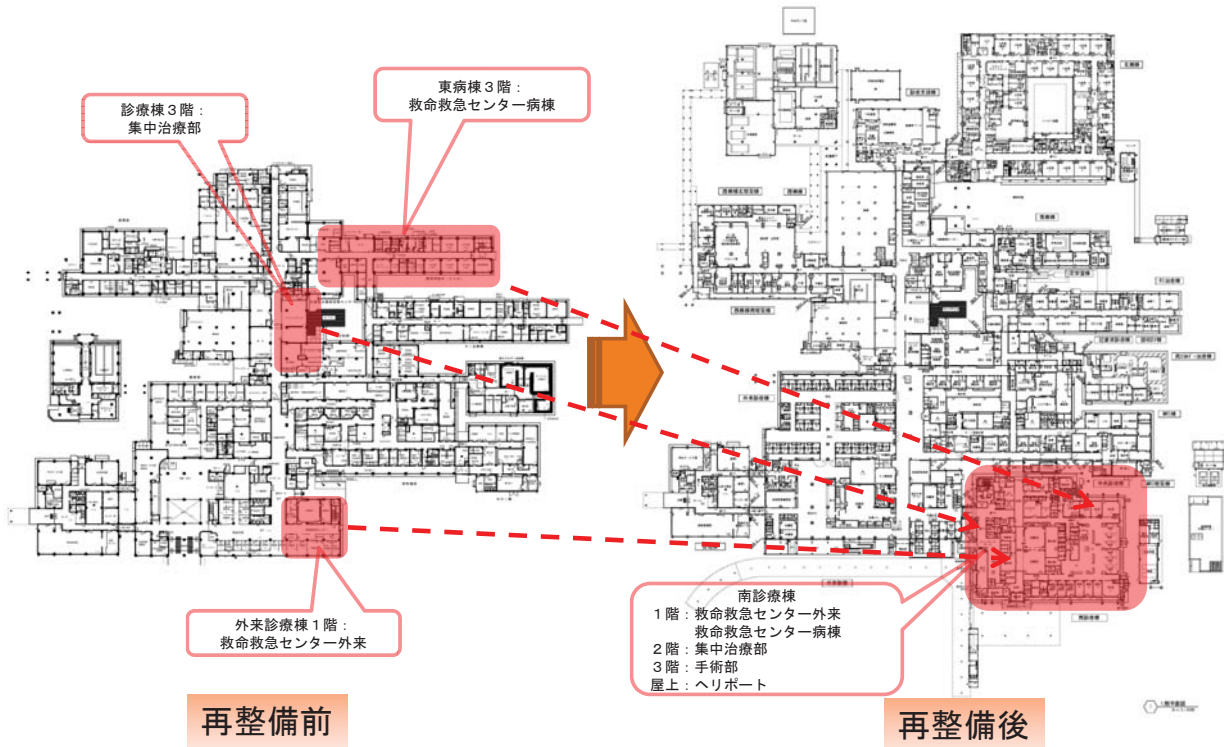
○研修センター設置(教育・研究・研修機能強化)

- カンファレンスルーム、教育研修室、会議室等の整備

○教育スペース拡充

- 狭隘な多床室面積改善(ベッドサイド教育の充実)

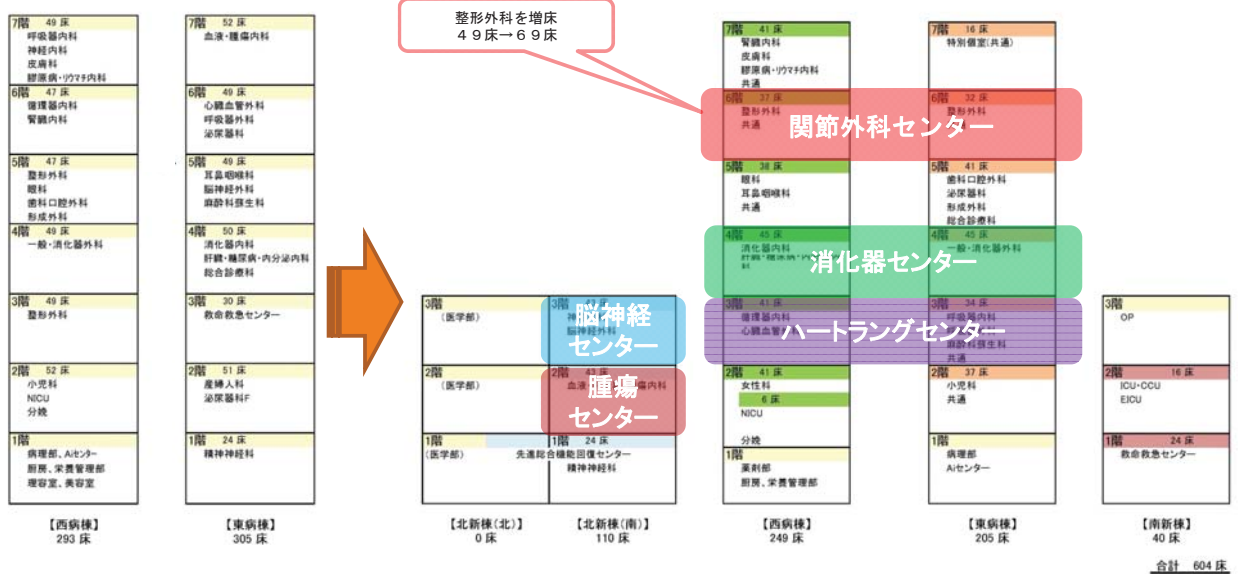
救命救急センターの機能強化



再整備前

再整備後

臓器別センター化促進



再整備前

再整備後

【病院再整備の主な設計趣旨①】

○総合待合での混雑を解消するために動線を単純化

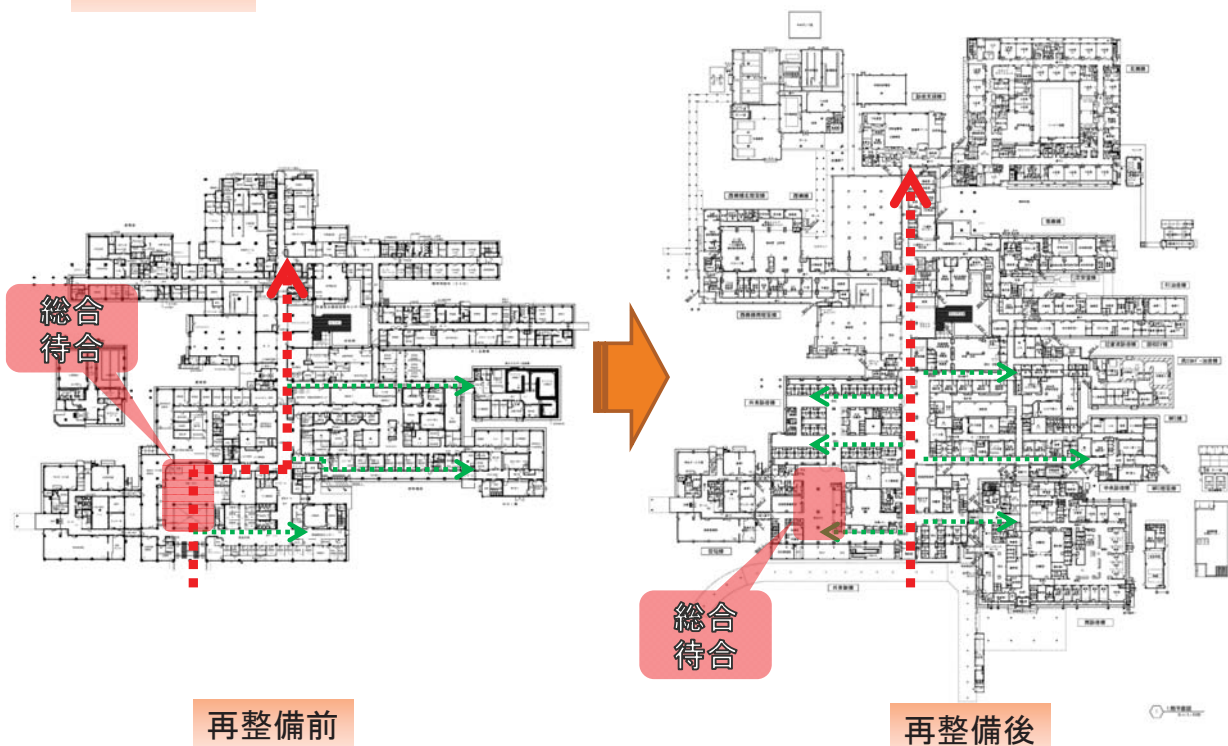
＜再整備前＞ 正面玄関から入ると
必ず総合待合を通過してから
外来や病棟へアクセス。



＜再整備後＞ 正面玄関をメイン廊下の位置に
移動させることによりメイン動線
から各エリアに行けるよう配慮。

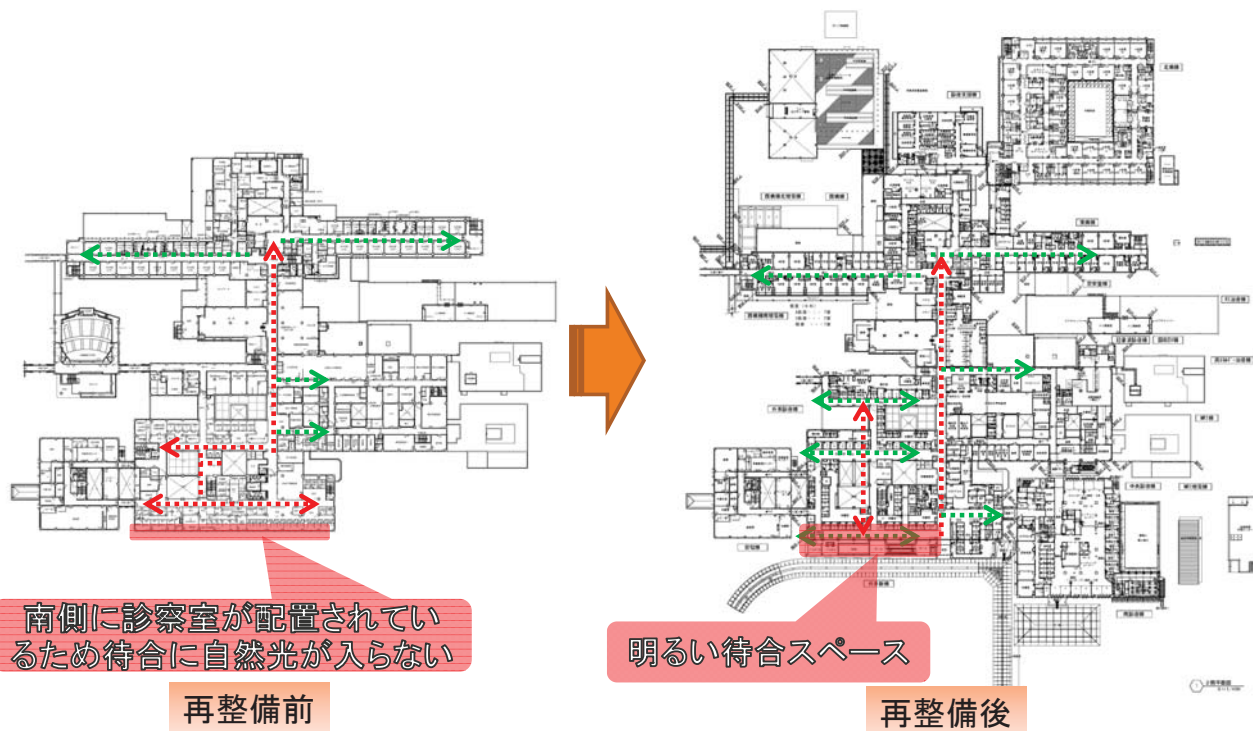
13

1階平面図



14

2階平面図



15

【病院再整備の主な設計趣旨②】

○外来の待合環境の改善及び上下階への動線強化

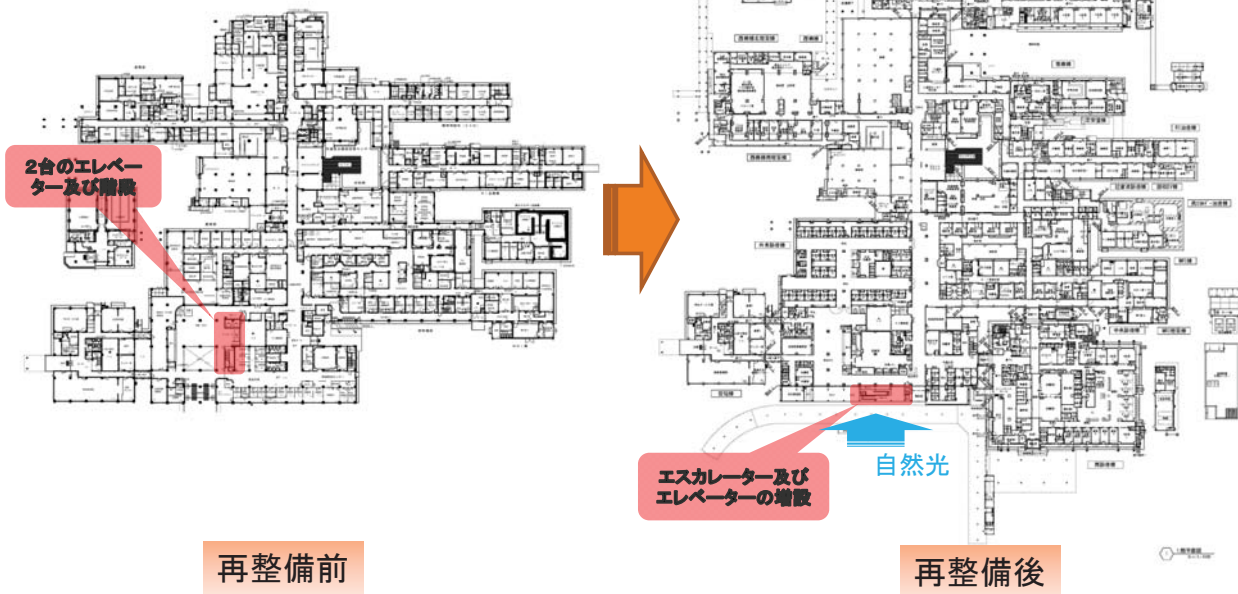
＜再整備前＞ 受付から各診察ブースに行くためには2台のエレベーターと1箇所の階段を使用。



＜再整備後＞ 外来棟南側を増築し、カーテンウォールにすることで自然光を取り入れ、明るい待合空間を形成。
エスカレーターとエレベーターを増設することにより混雑を解消。

16

1階平面図



【外来待合のイメージ】



<再整備前>
外部に面した窓のない待合



<再整備後>
カーテンウォールからの自然採光

【病院再整備の主な設計趣旨③】

○現場の問題点を適時把握し、計画・設計に反映

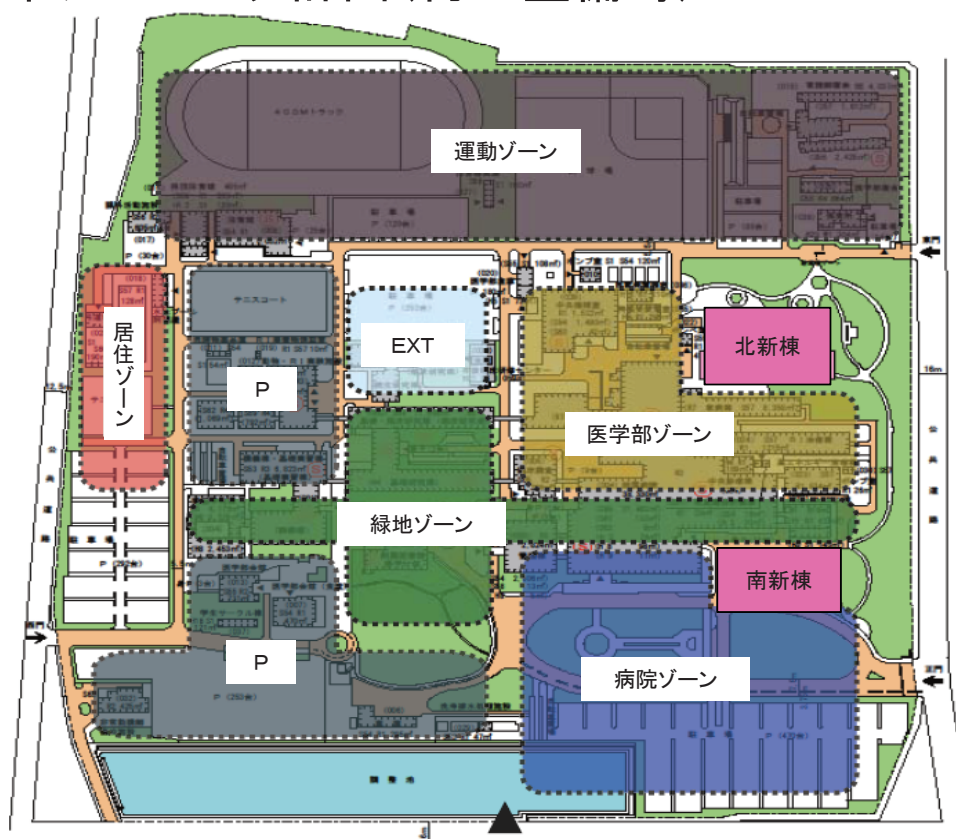
＜具体例＞

第Ⅰステージ完了・運用開始後、各部門にアンケート調査を実施し、問題点に対して即時解決策を現場に提示。

The image displays three tables side-by-side, each representing a different stage or department's survey results. Each table has multiple columns, likely including 'Issue', 'Response/Action Plan', and 'Status'. The tables are color-coded: the first is yellow, the second is green, and the third is blue. They contain detailed text and numerical data, representing the implementation of immediate solutions based on user feedback.

19

★将来ゾーニング計画(再々整備時)



20

1. 再開発整備の概要
2. 病院施設の総合的マネジメント
3. 特徴的な取組と今後の課題

なぜ国立大学病院に経営改善が必要か？ 佐賀県において「最後の砦」

- **良き人材の確保**
→ 正当な評価と応分のインセンティブ
- **先端医療の実施**
→ 高度医療機器の整備
- **業務量の平準化**
→ 役割分担とマンパワーの強化

効率的な病院運営による経営基盤の強化

佐賀大学式病院管理会計 “SagaCious”

- ★ 効率的で質の高い医療を行うには**標準化と管理会計**が必要である。
- ★ 簡便でリアルタイムの管理会計が望まれる。
厳密な精度は必要としない。
- ★ 医療の効率化と質の高い医療は両立する。

23

■ 病院管理会計がもたらしたもの

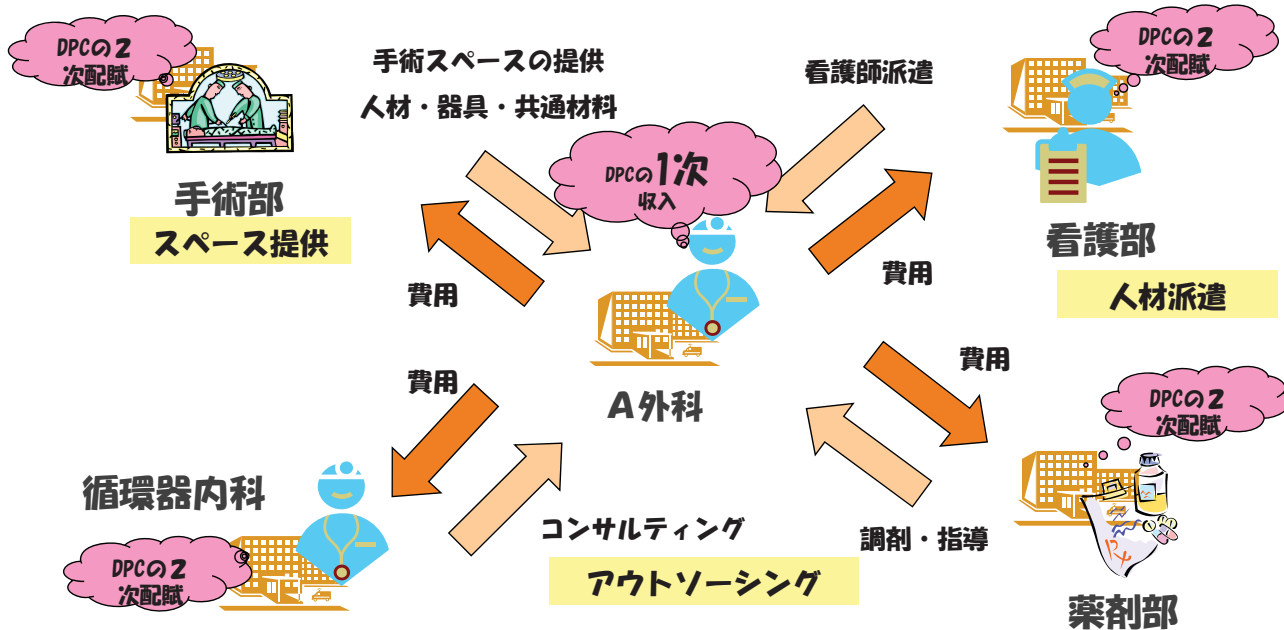
- ◆ 診療現場におけるムダ、ムラ、ムリが把握できた。
- ◆ コンサルテーションにより具体的な方策が示され、各診療科、DPC毎の医療の質と効率化が改善した。
- ◆ 大学病院本来の使命に基づいた診療が展開された。
- ◆ 人事労務面にも配慮がなされ、医療資源の配分に進展がみられた。
- ◆ 再整備を迎え、経営基盤が安定した。

「せざるを得ない」仕組みになっている

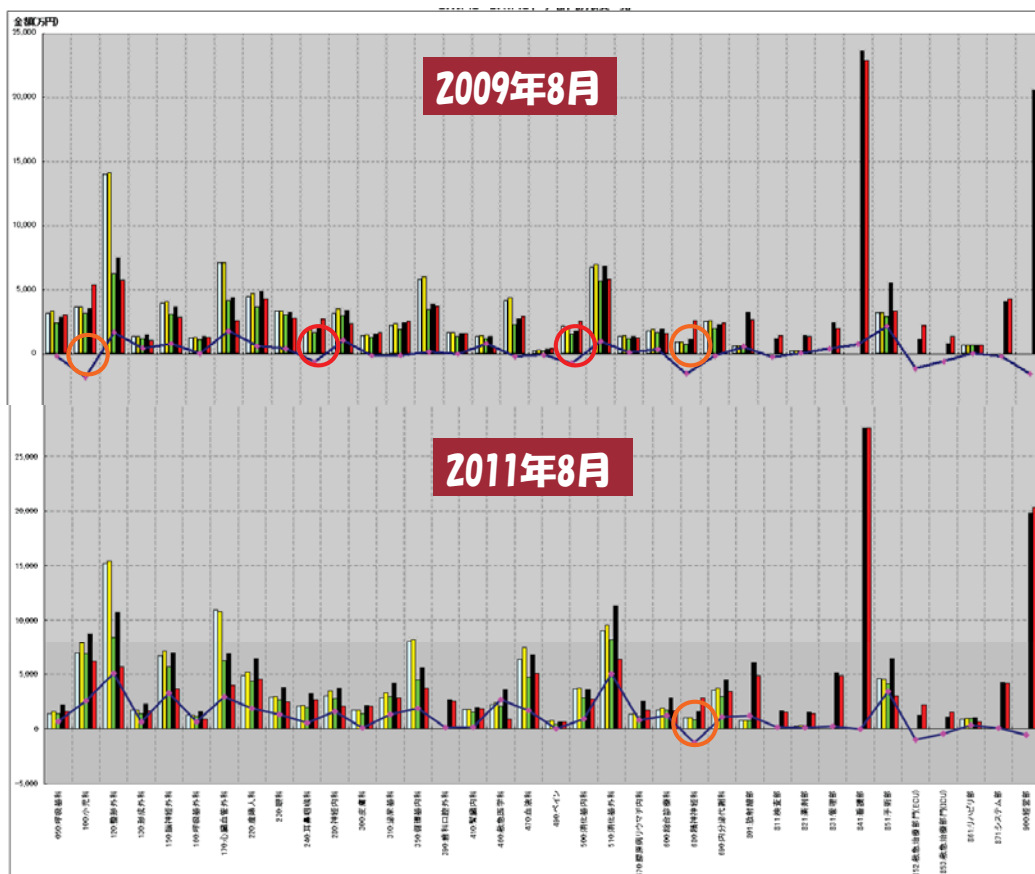
24

DPCでは評価されないことを評価するには？ 院内取引の考え方

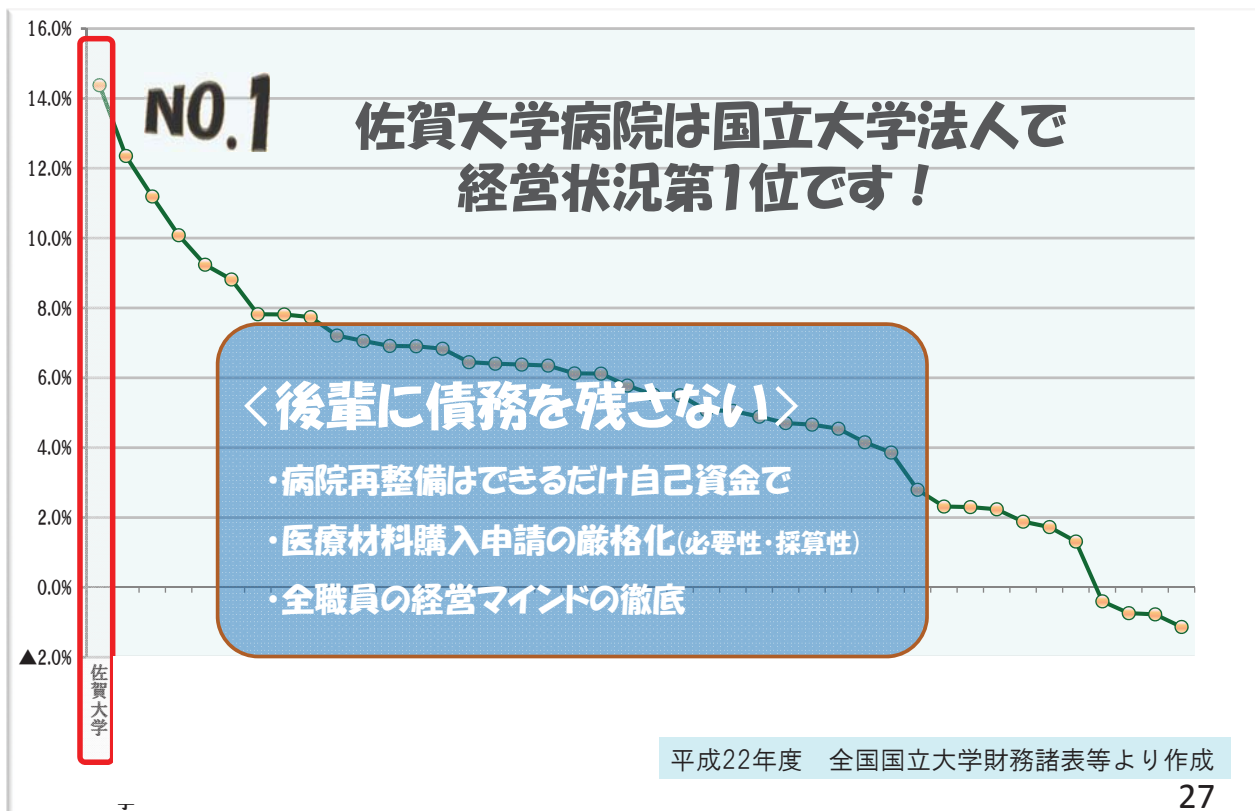
依存する部門間でサービス提供とコスト負担する方式



各テナントのバランス改善 (影響機能の効果)



利益率からみた大学附属病院の経営状況(平成22年度)



1. 再開発整備の概要
2. 病院施設の総合的マネジメント
3. 特徴的な取組と今後の課題

病院再整備に係る組織体制

病院長 総括

病院企画室会議
(病院運営等意志決定)

意志決定

病院再整備委員会

宮崎理事、藤本医学部長、森田病院長、木村・山下・馬渡・長谷川副病院長、能城・野出・安西病院長特別補佐、事務局長、環境施設部長、医学部事務部長

検討結果報告等

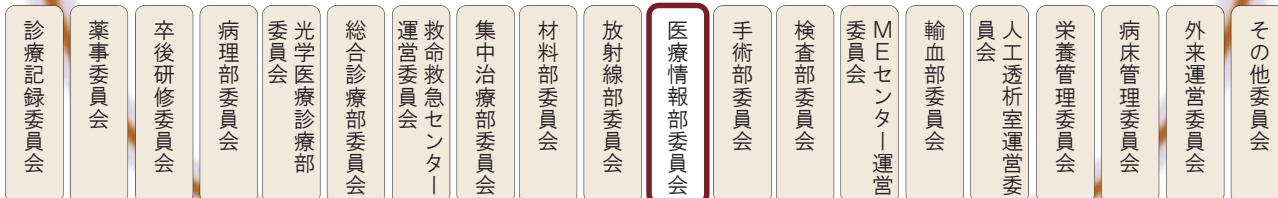
病院再整備推進室

山下副病院長、長谷川副病院長、毎熊副部長、横尾副課長、前田施設課長、松崎施設課副課長、南里係長、畑瀬係長 ほか

検討結果報告等

- ・ 全体配置計画 (患者等の動線)
- ・ 移行計画 (ロ-リンク計画)
- ・ 病床配置計画
- ・ サイン計画
- ・ ゾーニング計画

- ・ 償還計画
- ・ 設備等調達計画
- ・ 設備マスタープラン
- ・ 防災計画
- ・ 各種式典等 (新棟完成式典等)



各診療科、中央診療施設、特殊診療施設等

★佐賀大学病院における平成20年度以降の主な取組

2008年度 (H20)	2009年度 (H21)	2010年度 (H22)	2011年度 (H23)	2012年度 (H24)	2013年度 (H25)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療情報部改革 ・ 7:1看護体制の確保 ・ 病棟クラークの配置 ・ インセンティブの支給:緊急手術手当、夜間分娩手当、文書作成手当等 ・ 新卒後研修センター開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救命救急センター&救急部新体制構築 ・ 管理会計制度導入 (Sagacious) ・ 医療機能評価機構受審 Ver5認証 ・ 病院再整備概算要求プラン承認 ・ NICU設置 ・ 外来クラーク導入 ・ 診療科別収支解析とベンチマーク解析開始 ・ 新卒後臨床研修センター落成 (communicationskillと臨床技能教育へ) ・ 女医パウダールーム・休憩仮眠室設置 ・ エコロジーガーデン導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進総合機能回復センター開設 ・ 動作支援ロボットHAL導入 ・ コーヒーショップ(ド-トル)導入・ラウンジ&テラス設置 ・ データに基づくインセンティブ支給(部門別インセンティブ) ・ PETCT, da Vinci4, 多軸血管撮影装置 (Zeego) 導入 ・ Aiセンターオープン ・ 地域医療支援センターオープン ・ 寄付講座地域医療支援学講座開始 ・ 動作解析・移動支援センター開設 ・ 院内画廊整備開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災・津波救護班派遣 ・ 医療スタッフ好生館互換研修事業開始 ・ 院内保育所増築・病児保育開設 ・ ドクターカー運用開始 ・ 第1回連携病院長会議スタート ・ 附属病院開院30周年記念式典 ・ 肝疾患寄付講座、肝疾患センター開設 ・ 内科学教授増員、糖尿病EHR構築 ・ 総合診療部改革(総合内科医育成事業の継承体制確立) ・ インセンティブ支給主体を個人へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院再整備南北新棟着工 ・ IMRT開始 ・ 佐賀大学附属病院附属地域総合診療センター設置 ・ 病院助教・病院講師制度発足 ・ 契約職員の常勤職員化 ・ 新インセンティブ支給 ・ 24時間コンビニセブ-ンイレブンオープン ・ 院内画廊完成、ガイドブック作成 ・ 320列CT導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ H22~H24 国立大学法人病院中3年連続収益率第1位 ・ 認可外院内保育園キッズバレットオープン ・ 沈床式立体駐車場完成 ・ 南北新棟完成 ・ daVinci Si導入:術者育成へ ・ バックアップヘリポート、給油・格納庫完成 ・ ドクターヘリ導入、就航 ・ マンパワーの増員:医療スタッフ・病院助教 

【既決定】

- 導入予定高額設備（H25からH27年度までに整備）
 - ・南診療棟MRI増設と脳神経外科ナビ手術
 - ・IVR-CT血管造影装置更新
 - ・MRI 2機(3.0ts,1.5ts)更新
 - ・新厨房関連設備整備

【今後の予定】

- ・給食システムの改革
「健康長寿をめざした食の創生」事業

平成29年度 病院再整備事業完成予定